

# 地理学連携機構, 地理関連学会連合, 人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会 合同総会 議事録

日時：2010年3月26日(金) 12:35-13:30

場所：法政大学 外濠校舎 S306 教室

出席者（順不同・敬称略）：

地理情報システム学会：村山祐司，  
東京地学協会：田辺 裕，齊藤享治，  
東北地理学会：日野正輝，境田清隆，  
日本地形学連合：島津 弘，  
日本地理教育学会：井田仁康，  
日本地理学会：松本 淳（議長），田中 靖（書記）  
地理関連学会連合：野上道男，  
経済地理学会：箸本健二，  
人文地理学会：金田章裕，小島泰雄，  
地理教育研究会：谷川尚哉，  
日本国際地図学会：鈴木厚志，  
日本雪氷学会：岩田修二，  
日本地域学会：渋澤博幸，  
日本水文科学会：吉越昭久  
水文・水資源学会：小寺浩二，  
歴史地理学会：林 和生

（欠席学会：日本生気象学会，日本沙漠学会，日本土壤肥料学会，日本地理科学学会，

日本農業気象学会，日本環境共生学会，日本環境教育学会，日本地下水学会，日本地質学会，  
日本都市計画学会，地域地理科学会，日本写真測量学会，兵庫地理学協会，和歌山地理学会）

## 【その他】

日本学術会議 IGU 分科会：氷見山幸夫

日本学術会議地球惑星科学委員会／地球・人間圏分科会：岡部篤行

人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会：碓井照子

IGU 京都地域会議準備委員会：石川義孝

## 配布資料

- ①21期日本学術会議 2009年度活動報告(3p)
- ②地理学連携機構要綱(2p)
- ③地理関連学会連合総会議事録 2009年3月27日 (1p)

## 1. 挨拶

野上地理学連携機構代表・地理関連学会連合議長より，地理学の置かれている現状の中での本会議開催の意義と経緯が説明された。

## 2. 議題

### (1) 学術会議報告

碓井関連学会連携協議会議長・日本学術会議会員より，21期(2009年度)日本学術会議における地理関連分野の活動について報告が，配布資料①を読み上げる形で行われた。この中の「地理教育分科会」および「高校地理歴史科教育に関する分科会」の活動報告に対し，谷川委員から「地理教育研究会は協力する意思があったが，声がかからなかったので何も出来なかった。」とのコメントがあ

り、それに対して確井委員より「学術会議の小委員会は交通費が出ないなどの問題があるため積極的に声をかけることができなかつたが、地歴科目の統合化をはじめとする難しい問題があるので、本会議の枠組みなどを利用して積極的に意見を出して欲しい。」との回答があつた。

(2) 学術会議の展望について（報告）

上の(1)に引き続いて確井関連学会連携協議会議長・日本学術会議会員より配布資料を読み上げる形で行われた。

(3) 地球惑星科学委員会の「地球の素養を身に付ける」の提言について

岡部委員より、地球惑星科学委員会社会貢献分科会が原案を作成した「地球の素養を身に付ける」を提言することが報告された。

(4) 地球惑星科学連合(JPGU)の動向について

松本委員より JPGU の現状とその中における地理学関係者の動向について説明がなされた。具体的には、①昨年度行われた選挙では合計 12 名の日本地理学会会員が「地球人間圏科学」および「大気海洋・環境科学」のセクションでの代議員に選出され、さらに「地球人間圏科学」のセクションプレジデントには岡部篤行委員が選ばれたこと、②JPGU ではこれまで独自の学会誌を持っていなかつたが、各学協会の雑誌とは競合しない形での電子媒体での出版をする案が議論されていること、③今年 5 月の JPGU の発表者が大幅に増加し、地理関係からも多くのセッションが立てられたので積極的に地理学関係者が参加して欲しいこと、が報告された。

(5) IGU 地域大会「京都」の準備状況の報告とそれへの協力体制について

石川委員より、IGU 地域大会（2013 年開催）の準備状況について報告がなされた。全部で 8000 万円程度の経費がかかる予定であり、参加学会からの資金援助を文書で依頼していること、資金は今のところ順調に集まりつつあること、今夏に組織委員会を発足させる予定であることなどが報告された。

(6) 地理学連携機構事務局体制について

確井委員より地理学連携機構要綱（→配布資料②）5 条に基づき、連携機構の幹事会を発足させる必要があることが確認された。直ちに地理関連学会連合および人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会の総会がそれぞれ行われ、地理関連学会連合からは、議長岡部委員、副議長松本委員、人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会からは、議長確井委員、副議長野間晴雄委員（ただし、本人は欠席のため後日に承認）が選出され、この 4 名で幹事会を構成することが承認された。

(7) その他

①確井委員より、昨年度の学術会議の地理教育分科会の活動より、教員の研修体制整備について各学協会へ協力要請がなされた。具体的には、各学協会から一人ずつ程度委員を選出してもらい、地理教育分科会に現在三つある小委員会に加えてもう一つ小委員会を作って対応する予定が述べられた。後日各幹事から学協会に文書にて依頼を出すので、各学協会でも検討してほしい旨、依頼がなされた。

②井田委員より，高等学校の「地理」が必修科目から外される問題について，各学会への協力要請がなされた。近日中に連携機構より各所に向けた要望書案を送付するので，至急に多数の学会から賛同いただきたい旨，依頼がなされた。

③松本委員より，新しく組織された連携機構等に関して，ホームページを作成する予定であることが報告された。

以上